

交換留学(派遣) 帰国報告書

あなたの情報(本報告書を閲覧する際には、あなたの氏名、学籍番号、メールアドレスは公開されません)	
留学先大学:	ロンドン大学SOAS
留学先での所属学部・研究科:	Law & Social science Faculty
留学先での在籍身分:	Japanese exchange student
留学期間:	2018年 8月 23日～ 2019年 6月 14日
神戸大学での所属学部/研究科:	国際文化学部
学年(出発時):	3
帰国日:	2019/7/6
本報告書記入日:	2019/9/5



1. 留学先大学について

1-1	学年開始月日:	9月 24日	
	学年終了月日:	6月 14日	
	学期:	①	9月 24日～ 12月 14日
		②	1月 7日～ 3月 15日
③		4月 22日～ 6月 14日	
④		月 日～ 月 日	
1-2	留学先大学の特長、人気のある分野等について記入ください。	開発学、経済学、地域研究	
1-3	留学先大学のサポートについて記入ください。		
	語学面でのサポート:	語学学校併設	
	勉学面でのサポート:		
	精神面でのサポート:	mental helth supportの窓口	
	住居・生活面でのサポート:	寮の斡旋	
	課外活動のサポート:	societyの運営	
1-4	近況報告書提出後に、履修した授業について記入してください。	クリックで別シートへ	
1-5	神戸大学の所属学部・研究科にて「単位認定」を申請する予定ですか?	はい	

2. 住居について

2-1	住居についてアドバイスを含め自由に記入してください。(気を付けること等)	フラットメイトと共有部分であるキッチンのルール作りを入居した時に決めておく、その後のコミュニケーションがスムーズにいく。最初にmessengerを交換して、フラットのグループを作っておくと、フラットのドアの鍵を忘れた場合などにも便利。
-----	--------------------------------------	---

3. 生活について

3-1	インターネット接続環境について	
	住居内のインターネット接続可否、プロバイダー、料金等について記入してください。	無線LANが各自の部屋と寮全体に通っており、料金は寮に含まれている。
3-2	大学内のインターネット接続可否(wi-fi)等について記入してください。	無線インターネットあり。
	医療について	
3-3	留学中に病院に通いましたか。医療費等について記入してください。また、健康管理や衛生面について特に注意すべき点について教えてください。	低用量ピルはNHSに加入していると診察を受けて無料でもらえる。乾燥がひどい。
	銀行口座等について	
3-3	留学先でお金を引き出す為にどんな準備・手続きをしましたか。(現地口座開設、キャッシュサポート等)	マネパカードなどの複数通貨のプリペイドカードとクレジットカードを持って行った。現地のインターネットバンクのカードも作ると、タッチ決済ができて便利。

4. 経費について(奨学金、留学費用)		
4-1	奨学金を受給していた場合、奨学金名(財団名等):	JASSO
	支給額(円/月):	10万円
	その他(渡航費等の支給):	
4-2	留学期間を通して必要だった費用を記入してください。 (概算で結構ですので、円価で記入してください。)	
	航空運賃:	15万円
	住居費:	(月額) 10万 円 × (留学月数) 10 カ月 = 100万 円
	食費:	(月額) 4万 円 × (留学月数) 10カ月 = 40万 円
	保険料:	7万円
	その他:	月5万円(交通費、日用品など)
	合計(留学期間全体の費用):	200万 円
5. 異文化体験について		
5-1	留学先の文化・社会(習慣の違い等)について記入してください。	多種多様な人が住んでいるため、他人の外見や服装を気にしないし、自分も自由にしている。場所による雰囲気が大きく異なり、住む人も固定化されている。
	大学外の現地の人々と、どの程度コンタクトを持ちましたか。	societyの学外の人の家に遊びに行く程度
	課外活動(ボランティア、インターンシップ、アルバイト等)はしましたか。	していない
	留学先の「町」についてコメントがあれば、記入してください。(安全性、外国人への態度等)	最寄駅にもホームレスは多いし、警戒は常に必要だが、あからさまな差別はあまりない。観光客に見られやすい。
6. 就職活動について		
6-1	留学期間中に就職活動をしましたか。就職活動をした場合、どんなことをしたか教えてください。	ロンドンキャリアフォーラムに参加し、数回のスカイプの面接と対面の面接をした。
7. アドバイス、振り返り		
7-1	現地で参考となった留学先国の情報(出版物、ホームページ)を記入してください。	同じ留学生的のビザ申請に関するブログや記事など。
7-2	現地では手に入らない物、日本から持参すると良いと思われるものがあれば、記入してください。	乾燥ネギ、柚子胡椒などちょっとした調味料(醤油などは簡単に手に入る)、防水のウィンドブレーカー、ジーンズ(足の長さなどフィット感が違う)、女性であればスキンケアや化粧品
7-3	留学することによって得られたことについて記入してください。(語学力の向上、キャリアパスの明確化、異文化理解等)	計画力、行動力の向上、異文化を受け入れる順応力
	語学力について、差し支えの無い範囲で、留学前と帰国後の客観的な指標を教えてください。	留学前:() 点 → 帰国後:() 点
7-4	振り返ってみて、何が最大のトラブルでしたか。	取りたい授業が開講されてなかったこと。
7-5	留学前、留学期間を通じて、神戸大学のあなたへのサポートは適切でしたか。神戸大学への要望があれば記入してください。	
7-6	本留学プログラムを後輩に薦めますか。薦める場合・薦めない場合ともに、理由を記入してください。	薦める。自分の将来について考える時間と、多くの人の生き方や意見を聞く機会が増えるため。
7-7	留学全体を振り返って、以下の質問に教えてください。(5段階評価、5が最も高い評価、1が最も低い評価)	
	・留学先大学の授業の「質」(内容、レベル等)に満足しましたか	4
	・留学先大学の学生サービスに満足しましたか	2
	・留学先の住み心地(安全性等)に満足しましたか	5
	・住居の「質」(広さ、料金等)に満足しましたか	2
	・全体として留学に係る費用は安かったと思い、満足しましたか	1
	・神戸大学の留学に係るサポートに満足しましたか	3
・留学全体の総合的な評価	4	

8. その他感想、後輩へのメッセージ等を自由に記載してください。(800字～)

ロンドンという街は、多くの顔を持っているという点で非常に面白い街だった。ともすれば、中心地を回るなら、歩いてでも1日で回れるぐらいの広さであるにも関わらず、高級住宅街、パンク、下町、文化財、政治の中心地、経済の中心地、全てが詰まっている。その中を歩き回る中で、自分がアジア人であり、学生であり、キリスト教に親しむ者であり、一時的な滞在者である、というような複数のアイデンティティを持っているということを認識したし、行く場所場所によって、表層に出てくる一番強く感じるアイデンティティは違うものだった。もちろん、中華街に行けば、親しみのある顔の人が多く、懐かしいような食べ物の香りは漂ってくるので、自分がロンドンの中にも中国文化に親近感を覚え、東アジア人であることを実感し、安心したりもするが、その一方で、他のアイデンティティは彼らとは一致しないし、日本と中国という区別においてもどこか疎外感を感じていた。そのような、安心と疎外感の二面を持った場所もあったし、まるっきり疎外感を感じる場所もあった。おそらく日本にいれば、何の疑いもなく日常で接する人々と同じ価値観を共有することを信じ、それはほぼほぼ正しいので、他者との摩擦を感じずに住むことができる。対して留学中は、言語の違いから始まり、いかに他者とコミュニケーションを誤解なく進めるか、ということを常に考えていた。この留学において、“違い”にとっても敏感になるということは、自分をどのアイデンティティを持つ者として認識するかを考える機会でもあったと同時に、違いを見つけることは差別の始まりじゃないかと恐怖を抱きもした。これは留学に行くことでしか得られない視点ではないと思うが、私にとって、留学がそのきっかけを作った、という点で有意義であった。